第7章　羽曳野市母子保健計画

【「母子保健計画」の課題の構成と概要】

ここでは、平成 17 年度以降次世代育成支援行動計画に包括された母子保健計画部分について、個々の事業や数値目標ならびにめざすべき姿への達成状況の評価を行うための概要を示しています。

母子保健計画策定にあたっては、21 世紀の母子保健の主要な取り組みを提示するビジョンであり、関係者、関係機関・団体が一体となって、その達成に向けて取り組む国民運動計画である「健やか親子 21（第２次）」で示された課題や指標を基本とすることが厚生労働省の母子保健計画策定指針にうたわれています。

「健やか親子 21（第 2 次）」において、「すべての子どもが健やかに育つ社会」の 10 年後の実現に向けて、３つの基盤課題（「切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策」、「学童期・思春期から成人期に向けた保健対策」、「子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり」）と、２つの重点課題（「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」と「妊娠期からの児童虐待防止対策」）が全国的な取り組み課題として設定されました。羽曳野市においても、現在取り組んでいる事業を上記課題に沿ったかたちで整理し、10 年後の取り組み目標を示しました。

（１）基盤課題

	指標名	現状値	５年後目標	10 年後目標	取り組み事業名
切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策	低出生体重児の割合	8.9%	減少	減少	・妊娠届出時に保健師が全数面接を実施 ・喫煙、飲酒についての妊娠届出時のアンケートの実施と保健指導の実施 ・妊娠中健康管理の情報提供 ・妊婦健診の費用助成と還付制度 ・マタニティマークの啓発 ・母性管理カードの普及啓発 ・マタニティスクールの開催 ・医療機関との連携と協議 ・要養育支援者情報提供票の活用 ・養育医療申請者の面接の実施 ・新生児訪問の実施、乳幼児健診での歯科衛生士による教育の実施、むし歯予測試験の実施、むし歯予防教室の実施 ・よい歯のコンクールの開催
	妊娠・出産に満足している人の割合	調査予定	調査後に設定	調査後に設定	
	むし歯のない３歳児の割合	85.8%	86%	90%	
	妊娠中の妊婦・両親の喫煙率	母　3.8%（全国調査） 父　41.5%（全国調査）	0% 30%	0% 20%	
	妊娠中の妊婦の飲酒率	4.3%	0%	0%	
	乳幼児健診の受診率	４か月　99.0% １歳６か月　95.6% ３歳６か月　90.6%	100% 97% 94%	100% 100% 100%	
	小児救急電話相談（#8000）を知っている親の割合	調査予定	調査後に設定	調査後に設定	
	仕上げ磨きをする親の割合	調査予定	調査後に設定	調査後に設定	

	指標名	現状値	５年後目標	10 年後目標	取り組み事業名
切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策	妊娠 11 週以下での妊娠の届出率	94.0%	100%	100%	・妊娠 11 週以降での妊娠届出遅延者に対しての聞き取りの実施 ・予防接種法に基づく予防接種の実施
	1 歳までに BCG 接種を終了している子どもの割合	99.0%	100%	100%	
学童期・思春期から成人期に向けた保健対策	10 代の喫煙率	小学生　男子 4.0% 女子 0.8% 中学生　男子 5.2% 女子 2.2% （健康はびきの 21 アンケート調査より）	0%	0%	・思春期教育の実施と充実 （STD（性感染症）の知識の普及、妊娠出産育児に関する正しい知識の普及、望まない妊娠を避けるための保健指導の実施） ・教育委員会との連携 ・相談機関の紹介 （妊娠 SOS、SACHIKO など）
	10 代の飲酒率	小学生　男子 39.9% 女子 24.2% 中学生　男子 31.5% 女子 39.8% （健康はびきの 21 アンケート調査より）	0%	0%	
	朝食を欠食する子どもの割合	小学５年生　6.7% 中学２年生　9.6% （健康はびきの 21 アンケート調査より）	0%	0%	
子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり	この地域で子育てしたいと思う親の割合	調査予定	調査後に設定	調査後に設定	・マタニティマークの啓発 ・マタニティスクールのプログラムの工夫（育児レッスン、父性の教育） ・妊娠届出時に父性を意識した啓発活動の実施 ・子育てサロンでの教育、相談の実施 ・家庭訪問、育児相談の実施 ・事故予防教育の実施 ・母子健康管理カードの啓発活用 ・あそびの教室、ニコニコ親子教室の開催 ・健診未受診者の全数把握 ・各種健診での個別相談の実施 ・各関係機関との連携 ・地域資源の紹介
	妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮されたと思う就労妊婦の割合	調査予定	調査後に設定	調査後に設定	
	マタニティマークを妊娠中に使用したことのある母親の割合	52.3% （全国調査）	60%	70%	
	主体的に育児に関わっていると感じている父親の割合	調査予定	調査後に設定	調査後に設定	
	乳幼児健診の未受診者の全数の状況を把握しているか	把握している	継続	継続	
	事故予防対策を実施しているか	実施している	継続	継続	

（２）重点課題

	指標名	現状値	５年後目標	10 年後目標	取り組み事業名
育てにくさを感じる親に寄り添う支援	育てにくいと感じているか	調査予定	調査後に設定	調査後に設定	・乳幼児健診の実施 ・経過観察健診の実施 ・フォロー教室（パンダ・きりん）の実施 ・ニコニコ親子教室の開催 ・家庭訪問、育児相談の実施 ・藤井寺保健所との連携強化 ・専門病院、療育機関への紹介と連携 ・地域出向健康教育、相談の実施 ・障がい児連絡会、はびきの子育てネットへの参加 ・職員研修参加の機会の保証 ・保護者向け勉強会の実施
	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	調査予定	調査後に設定	調査後に設定	
	就学前の障がい児に対する通所支援の利用数	―	―	―	
	発達障がいをはじめとする育てにくさを感じる親への早期支援体制の有無	調査予定	調査後に設定	調査後に設定	
妊娠期からの児童虐待防止対策	児童虐待による死亡数	0	0	0	・乳幼児健診の実施 ・健診未受診者の全数把握 ・経過観察健診の実施 ・妊娠届出時に保健師による全数面接、保健指導の実施 ・妊産婦への家庭訪問、育児相談の実施 ・妊娠中の教育（孤立しない支援、揺さぶられっこ症候群の予防の啓発）の実施 ・こんにちは赤ちゃん訪問、新生児訪問の連携強化 ・母子保健連絡協議会（出産医療機関と藤井寺保健所管内３市との調整会議）の開催 ・虐待防止の啓発活動（チラシ配布、ポスター掲示、相談窓口の普及） ・虐待リスクアセスメントシートの活用 ・関係機関との連携強化 ・訪問カンファレンスの実施 ・要保護児童対策地域協議会への参加 ・マイツリー等親支援事業の紹介 ・子育てサロンでの虐待予防の啓発 ・赤ちゃんの気持ち指標の活用による相談の実施 ・あそびの教室の開催 ・思春期教室の開催 ・情報共有、組織としての対応マニュアルの作成 ・社会資源の情報提供 ・定期的な事例研究の開催 ・むし歯保有率との関連を重視した対応
	子どもを虐待していると思う親の割合	調査予定	調査後に設定	調査後に設定	
	乳幼児健診の受診率【再掲】	４か月　99.0% １歳６か月 95.6% ３歳６か月 90.6%	100% 97% 94%	100% 100% 100%	
	児童虐待防止法で国民に求められた児童虐待の通告義務を知っている市民の割合	調査予定	調査後に設定	調査後に設定	
	乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）を知っている親の割合	調査予定	調査後に設定	調査後に設定	
	対象家庭全てに対し乳児家庭全戸訪問を実施しているか	実施している	継続	継続	

※現状値の数値については、断り書きがない場合、平成 26 年度健康づくり推進協議会資料（平成 25 年度実績）に基づくものです。